



IRIS(アイリス)は、菖蒲・花菖蒲など、あやめ科の植物を表す言葉ですが、ギリシャ神話では「虹の女神」のことをいいます。アイリスクラブ通信「虹」は、私どもとみなさまを結ぶ架け橋として、楽しんでいただけるよう、また、お役にたてるようにと願い、会員のみなさまにだけお届けしております。



白鬚神社

ごあいさつ

アイリスクラブ会員の皆さまには本年も格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

私たちの暮らしかや地域の情報を掲載したアイリスクラブ通信「虹」は、今号で68回となりました。発行の度に、貴重なご意見やご感想をお送りいただき、スタッフ一同励みとしております。また、イベントやセミナーにも多くの方々にご参加いただきました。改めて、心より感謝いたします。

スマートフォンが発達で、瞬時に人と繋がることができ、お気に入りの映画、音楽、ゲーム、大切な思い出の写真やメール、小さな端末に私たちの人生が記憶され、AIの時代が訪れようとしています。私たちは世の中がどんなに便利になったとしても、リアルな人と人との繋がりを大切にしながら、地域の皆さまの暮らしをサポートし、より身近な心が通い合うサービスを提供してまいります。

今後とも公益社グループならびにアイリスクラブに一層のご愛顧をどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社 公益社  
代表取締役 木川英樹

RE DISCOVER NIPPON

知っていそうで知らない ニッポン再発見 ②

鳥居がおもしろい!!

日本全国どこにでもあり、まちを見渡せば鳥居が目に入る。あまりにも日常の風景なので、どうしてだろうと不思議にも思わない。それが「鳥居」だ。実は、よく見るとそれぞれ構造が異なり、大きなものから小さなものまで様々である。ほとんど気にすることもない鳥居だが、それが神聖な場所への入り口であることを誰もが自然と理解している。そして、僕らは、地震の多いこの国で2本の支柱だけで立っている違和感に、何か秘密が隠されているに違いないと考えてしまうのである。

10年ほど前、滋賀大学の公開講座を受けたことがある。谷田博幸教授の「鳥居学講座」だ。2014年、谷田教授は著書『鳥居』(河出書房新社)を出版された。そこには、鳥居に関する考察がなされ、膨大な知識が詰まっている。ここでは、基本的な鳥居の構造だけ記しておくことにする(図参照)。

鳥居は明神系、神明系の2つに大別される。

近江の鳥居はほとんどが明神系鳥居だ。判りやすい神明系は彦根の県社護国神社にある「靖国鳥居」だ。同じ形状で笠木が五角形のは「伊勢鳥居」である。このようにして、それぞれ笠木、貫などの形状で分類され、更に鳥木の反りや柱の傾きなどにより、鳥居は60種以上あるといわれている。

滋賀県で一番有名なのは湖中に浮かぶ白鬚神社(高島市鶴川)の鳥居だろう。本柱の前後に短い控え柱を立て、貫で本柱と連結させた様式で、「両部鳥居(厳島式鳥居)」という。世界遺産に登録された広島県宮島の厳島神社の大鳥居と同じだ。

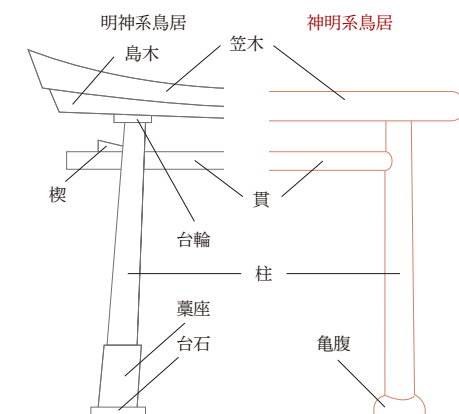
また、滋賀県には日本唯一の鳥居が伊香具神社(長浜市木之本町大音)にある。その名もズバリ「伊香式鳥居」。柱は12本、「両部鳥居」と「三輪式鳥居」を合わせたものという。両部鳥居の左右に小さな鳥居をつなげてある。

年末年始、神社に詣でる機会も多い。鳥居を

分類したウェブサイトも多く、一夜漬けにはうってつけだが、できれば『鳥居』を熟読しておきたい。初詣の楽しみが10倍くらい増えるに違いない。 雲行



▶伊香具神社(伊香式鳥居)



# 2018年 公益社1年の催し

## 葬祭フェア

各公益会館では「葬祭フェア」を開催しております。恒例の「人形法要祭」には、受付時間と同時に多くの皆様が、大切なお人形やぬいぐるみを持って来られ、祭壇横の安置スペースはいっぱいになりました。法要も多くの方々にご参列いただき、ご導師の読経、皆さんがお焼香をされ、惜しまれながらも役目を終えたお人形やぬいぐるみをお供養いたしました。法要後の「公益亭寄席」落語会は、落語家の愉快的語り口で会場は笑いに包まれました。また、「終活セミナー」は、税理士によるエンディングノートの書き方から相続のしくみを分かりやすく解説いただきました。相続に関する問題は、生前であれば様々な対策方法がありますが、相続が始まってからできることはほとんどありません。相続についてはご家族のためにトラブルがないようにと皆さんの関心も高いようです。

同時開催しました「生前写真撮影会」では、やや緊張気味の中、プロのカメラマンがリラックスさせることで表情もやわらぎ、素敵な笑顔の1枚にご満足いただけた様子でした。



- 7月16日(祝・月) 八日市公益会館  
「人形法要祭」・「公益亭寄席」笑福亭鶴二師匠  
同時開催／生前写真撮影会・終活相談会・花ひろば市・フラワーアレンジ教室
- 7月29日(日) 多賀公益会館  
「人形法要祭」・「公益亭寄席」笑福亭遊喬師匠  
同時開催／生前写真撮影会・終活相談会・花ひろば市・フラワーアレンジ教室
- 9月24日(祝・月) メモリアルプラザ公益会館  
「人形法要祭」・「終活セミナー 葬儀後の手続き」講師：税理士 田井尊之氏  
同時開催／生前写真撮影会・事前相談会

## ウィークリー講座

毎週開催のウィークリー講座は、毎回内容を変えてのチャレンジ講座！

伝筆(つてふで)教室では、筆ペン1本で文字に気持ちをのせ文字のコツを教わり想いのこもったハガキを作成しました。

絵てがみ教室でもハガキに水彩絵の具を使い、目の前にあるハイビスカスやアジサイを描きます。時には先生のご指導を受けながら、皆さん真剣に絵と向き合って上手に出来上がりました。このようなお手紙が届いたらとても幸せな気分になると思います。

他にも日本茶の淹れ方やフラワーアレンジ教室、インテリアとして大人気のハーバリウムの教室は定員を超えるほどでした。ハーバリウムは瓶の中に乾燥した植物を入れて専用のオイルを注いで作ります。ピンセットでお気に入りの花材を配置するのがなかなか思い通りに行かず、それでも皆さん個性あふれる素敵な作品を完成させました。



- 6月10日(日) 近江八幡公益会館「伝筆教室」  
あたたかい文字で気持ちを伝える／伝筆認定講師：御代麻理子氏
- 6月17日(日) フィリアホール彦根「絵てがみ教室」  
飾らない絵とことばでやさしい気持ちを贈る／講師：平面作家 杉尾信子氏
- 6月23日(土) 多賀公益会館「日本茶の淹れ方教室」  
もっとおいしい日本茶の淹れ方／講師：茶匠 宮尾興史氏
- 7月1日(日) 八日市公益会館「フラワーアレンジ教室」  
季節のお花をかわいくアレンジ／協力：フラワーガーデンアイリス
- 7月8日(日) メモリアルプラザ公益会館「ハーバリウム教室」  
話題のハーバリウムを好きな花で自由に作る／協力：フラワーガーデンアイリス

## FLOWER GARDEN IRIS の1年

「Salon de Fleur+」2018 in フラワーガーデンアイリス多賀

- 2月 9日(金)・10日(土) 「ソープアレンジ」石けんでできたお花のアレンジ
- 4月13日(土)・14日(日) 「ハーバリウム」大人気！オイルを使った植物標本
- 6月 8日(金)・ 9日(土) 「アロマスワッグ」ハーブなど香りも楽しむ花束
- 8月10日(金)・11日(土) 「プリザーブドアレンジ」  
ずっと美しいプリザーブドフラワーのアレンジ
- 10月12日(金)・13日(土) 「ハロウィンアレンジ」生花でハロウィンのアレンジを
- 12月 7日(金)・ 8日(土) 「X'masアレンジ」  
生花で作るトビアリー 北欧インテリアのオシャレなかたち



ソープアレンジ



ハーバリウム



アロマスワッグ

- ✿ 春の花まつり in フラワーガーデンアイリス  
3月16日(金)～18日(日)
- ✿ 秋の花まつり in フラワーガーデンアイリス多賀  
9月30日(日)



## フィリアホール彦根 文化講座 & 内覧会

本年は3回の文化講座を開催。「生前整理のススメ」では、これからの暮らしを考え、元気なうちに要るモノと要らないモノを区別し、不要なものを取り除くことは、家族のため、自分のための前向きな整理であること。「心豊かな老後をおくるために」は、高齢化社会に向かうなかでの介護保険のこと、保健医療や介護サービスなどのお話。少々難しいお話で疲れてきた頃に体をほぐす簡

単体操でリフレッシュ! 元気で楽しく暮らせるきっかけを見つける講座となりました。その他、様々な供養のかたちとして、「樹木葬」という石碑の代わりに樹木をシンボルにしたお墓や海への散骨から、近年よく耳にするようになった「手元供養」の身近に置ける故人を偲ぶペンダントやガラスの骨壺のご紹介などそれぞれの役割を分かりやすく解説していただきました。



### ■ 3月4日(日)

「生前整理のススメ」～片付けにはコツがある～  
講師：冠婚葬祭アドバイザー 戌亥正三郎氏  
これからの人生を前向きに有意義にし心豊かにしてくれる活動

同時開催 「アロマ・ワックスサシュ教室」  
ローソクの材料のワックスでつくるにおい袋のようなサシュを作る



### ■ 7月15日(日)

「心豊かな老後をおくるために」  
講師：医療法人友仁会 高橋孝治氏  
いざとなつて困らないために今からできる予防が大切

同時開催 「ハーバリウム教室」  
おしゃれなインテリアとして好きな花でオリジナリティあふれる作品に仕上げる



### ■ 9月16日(日)

「近年の供養のかたち 永代供養・手元供養とは」  
講師：供養アドバイザー 可児錠二氏  
手元供養の種類や納骨堂、海洋散骨、樹木葬など様々な供養のかたちを解説

同時開催 「ソープフラワーアレンジ教室」  
石けん素材のお花で作るほのかに香るアレンジメントフラワー

## 近江八幡公益会館 文化講座

近江八幡公益会館で4月から毎月開催しました文化講座。こちらの講座は、主に終活を意識した内容で、エンディングノートの書き方から財産の管理や生活をサポートする成年後見人制度、遺品整理、モノの整理と心の整理を

しながらできるテクニックを学んだり、退職後により豊かな生活をおくるためのお話や年金のしくみまで、幅広い内容での講座に毎回定員を超える多くの方々にご参加いただきました。



### ■ 4月22日(日)

「家族への伝言。エンディングノート教室」  
冠婚葬祭アドバイザー 戌亥正三郎氏  
延命治療、葬儀、埋葬、財産などの遺志を家族への伝言としてエンディングノートに記載しながら終活を学ぶ



### ■ 5月20日(日)

「将来に安心を！セカンドライフ講座」  
講師：フィナンシャルプランナー 佐々木和彦氏  
退職後の生活をより豊かで実りあるものにするため生きがい、健康など将来に安心な備えを学ぶ



### ■ 6月24日(日)

「成年後見人制度を知ってもらおう講座」  
講師：司法書士 田中利和氏  
認知症、精神上的の障害により財産管理や日常生活に支障がある人たちをサポートする成年後見人について学ぶ



### ■ 7月22日(日)

「～心の整理～遺品整理講座」  
講師：遺品整理士 内堀奏江氏  
所有者が他界し分別が難しい遺品。心の整理をしながら遺品整理がスムーズにできるテクニックを学ぶ



### ■ 8月26日(日)

「もう困らない!役に立つ年金講座」  
講師：社会保険労務士 北川圭英氏  
将来不安な年金の申請。様々なケースに応じて知っている困らない公的年金・社会保険のしくみなどを学ぶ



### ■ 9月9日(日)

「#思い出を残そう!プロが教える写真講座」  
講師：プロカメラマン 垣内寿美夫氏  
カメラの使い方、撮影テクニック、写真整理のコツ、家族との思い出での写真の撮り方を学ぶ



TOPIC  
1

## 第70期 期首全体会議

公益社では、毎月全社員が一堂に集まる早朝全体会議を行っています。期首となる10月は「期首全体会議」として、毎月の会議とは違う緊張感の中、前年度の公益社アワードの発表。前向きに取り組み他の模範となる社員と評価された3名に最優秀賞、優秀賞、努力賞が表彰されました。

続いて弊社代表より第70期の経営方針の発表があり、全社員に対し経営計画を周知し、計画の実行に向けて決意を新たに、各部署からは、前期の検証を踏まえ今期の行動計画の発表があり、それぞれの意気込みを確認しました。私たちは常にお客様の立場で考え、更なるサービス品質の向上に努めてまいります。



TOPIC  
2

## 第23期 公友会定時総会・研修会

公益社の協力業者会「公友会」の定時総会・研修会が開催されました。協力業者として公益社の大切なパートナーであり、情報の共有と協力が重要であることを確認し、お客様から選ばれる存在として更なる品質の向上に向け一致団結を約束しました。

終了後、1月にオープンする葬儀相談サロン「PLAZA IRIS」の内覧会と合わせ懇親会を開催。葬儀相談サロンとして相談できる窓口としての施設をご案内し、普段お仕事上でしか顔を合わさない方ともお話ができ和やかな意味のある懇親会となりました。

今後も協力業者との連携を深め更なる良い関係の構築を目指します。



TOPIC  
3

## 滋賀県総合防災合同訓練

2018年9月2日 ● 湖南省保健センター

真夏の暑さが残る中、平成30年滋賀県総合防災訓練が湖南省において行われ、滋賀県葬祭事業協同組合の会員メンバーと共に参加しました。

警察・医師・歯科医師・看護師・葬祭業者が参加する災害時検視訓練は、大災害が発生したとの想定で、ご遺体が発見され、遺体安置所に搬送されたところから始まりました。搬送されたご遺体は医師、警察による死亡確認、死亡場所等の確認、その後、警察による検視が徹底的に行われ、ご遺体の体の特徴や衣服の種類、質など詳しく調べます。同時に歯科医師によるレントゲンを使用して歯型の確認等が記録さ

れ、身元確認に使用されます。その後、ご遺族に引き渡すために、警察官の手でご遺体をきれいにし浴衣を着せます。着せ替えの時は、私たち葬儀業者も参加し、専門家としていろいろなアドバイスをさせていただき、ご遺体をお棺に納める納棺は、葬儀業者で丁寧に行いました。

最後に滋賀県知事が視察される中、ご遺族とご遺体の対面、確認が警察官立会のうえ行われます。ご遺族の感情的な質問や行動に警察官も返答に困惑する場面に遭遇し、現場の難しさと、万一の災害時に、猛暑の2時間を超える訓練を活かすことができるかどうかは、日々の心構えにかかっていると実感いたしました。



TOPIC  
4

## 災害時における棺及び葬祭用品の供給等 並びに遺体の搬送等の協力に関する協定

10月22日彦根市役所仮庁舎において、滋賀県葬祭事業協同組合と彦根市及び近隣の犬上郡多賀町・甲良町・豊郷町そして愛荘町との間で「災害時における棺及び葬祭用品の供給等並びに遺体の搬送等の協力に関する協定」を締結し、大久保市長をはじめ各首長が出席し締結式が行われました。

この協定は、多数の犠牲者を伴う大規模災害の発生時に湖東1市4町が地域防災計画に基づき、棺や骨壺など葬祭用品、遺体の搬送に必要な

な車両を提供すること、また、組合に所属する7社が仮の遺体安置所を設営する内容が盛り込まれました。

組合理事長である弊社代表は、「物品の供給だけでなく、何かあった時にご遺体の尊厳を守ることを重視したい。ご遺体の傍らには必ずご遺族の姿があり、その心情を察し心のケアをすることも大切にしていく」と決意表明いたしました。

なお、平成24年に滋賀県と全日本葬祭事業協同組合連合会、滋賀県葬祭事業協同組合と

の3者で同様の協定が結ばれております。今回の市町村のほかに、長浜市、米原市、草津市がすでに締結済みです。今後も他の市町村との災害時における協定を進めてまいります。



# ／ 公益社 ■ 各部署スタッフから ／

## ■ 葬祭事業部



私ども葬祭事業部は、公益社の中では一番長くご遺族様と関わらせていただく部署です。葬儀が終わるまでの平均3~4日の間、担当者として何ができるのかを考え、故人様にとって、また残されたご遺族様にとって悔いが残らないよう、最高の葬儀であることを念頭にサポートさせていただいております。

先日、私が担当させていただいたご遺族様の小学生の女の子より、お礼のお手紙と折り鶴をいただきました。手紙には「たくさんありがとうございます。ありがとうございました。」と書かれてありました。文章(たった一言)で私が味わうことができたこと(感激)を考えると、何気ない言動であっても真心が心を通わせるのだと勉強させられました。自分にはまだまだ足りないところなど感じました。「ありがとう」のお言葉をいただけるよう、日々、向上心と常に緊張感を持って、お手伝いをさせていただきます。

万が一に備えて私どもは、365日24時間体制で、皆様のお気持ちを尊重し、ニーズにお応えいたします。どうぞ、ご安心ください。(寺本 正)

## ■ 生花事業部



生花事業部は、その名のとおりにご葬儀でお供えさせていただくお花を作り飾ることを中心とした部署です。

ご葬儀に飾られるお花は、故人様のご家族、ご友人の方々の気持ちが込められた大切なものです。花が折れていないか、しおれていないか確認しながら、葬儀担当者が聞いてきた「思い」「要望」に添うよう、丁寧に飾っています。

僕の場合、要望やこだわりがとくにない場合は、三角をイメージし、「真っ直ぐ」「尖った」ものを、自分なりに「格好いい」ものを意識して飾ります。先輩方の技術に憧れ、自分なりに努力してきました。この職に就いた時から作ったものを「可愛い」と評価されることを何故か嫌っていましたが、昨年、子供が産まれ、その子が可愛くてしかたありません。そういった気持ちから花の作り方にも変化が出てきて、性別や年齢を以前よりも気にして、自分なりの工夫を考えるようになりました。

直接お客様と話す機会が少ない部署ですが、お花を通し皆様のサポートができる様に取り組んでまいります。(福永剛史)

## ■ 総務部



総務部では年6回、社内報【なでしこ】を発刊しています。【なでしこ】の名前の由来は総務部のイメージ「大和撫子」(笑)から名づけました。全社員に自社のことを知り、コミュニケーションの活性化を図るために、公益社に関する行事予定など見やすいオリジナルカレンダーを作成しました。

また、ご葬儀後のお客様アンケートやアイリスクラブ通信「虹」にいただいたお手紙などからご意見やお客様からの嬉しいお言葉を紹介しています。せっかくいただいたお声をみんなで共有し、改善策の検討やモチベーションアップにつなげています。

直接会う機会の少ない部署間の橋渡しの役目でもあり、「なでしこ広場」として、リレー方式で社員の近況や趣味などを記事にしています。私たちの手作りの社内報を通じて様々な情報を全社員に提供し、会社全体がさらに活性化することを目指します。(織田いづみ)

## ■ ホール事業部



私たちは「ご利用いただく皆様のお役に立ちたい!」との思いから数多くの勉強会や様々な取り組みを行ってきました。これまでは、外部の方に講師を依頼することが多かったのですが、今年度は自発的に自分が学んだ内容を他のスタッフに伝える社内講師を務めることにチャレンジしました。

例えば、『お茶の淹れ方勉強会』。普段、お客様やご寺院様にお出ししているお茶ですが、「もっと美味しいお茶を!」とお取引先のお茶屋さんに向い学んできたスタッフが皆に指導。淹れ方の違いでこんなにも味が違うことを実感しました。また、他部署にも講師を依頼。各々の得意分野について指導をしい、コミュニケーションを深め更なる品質向上に向けて一丸となることができました。

また、私たちの表情や言葉遣い等、皆様のお気持ちに添える自分作りを心がけ練習も行っていきます。学びを無駄にせず、経験を活かして更に『思いやりのある会館&人づくり』を目指して「公益社を選んでよかった」と感じていただけるようにスタッフ一同取り組んで参ります。(清水まゆみ)

## ■ 運輸事業部



車両に関するすべてのことを管理している部署です。ご遺体を搬送する寝台車や霊柩車、遺族や会葬者等の送迎で使用するバス、社員が業務に使用する社用車など多くの車両を管理するとともに、全社員に対しての交通安全教育も定期的の実施しています。

実際に車両を使用しての研修を実施し安全運転の基本動作や危険予知トレーニングなど、安全運転に対する意識と運転技術の向上を目指しています。春秋の全国交通安全運動では、社員が積極的に参加し、交差点での啓蒙活動も継続して実施しています。

初心者の方の緊張感をもつことが些細なミスによる事故を防止すると思います。私たちは安全管理規定など法令を遵守し、安全、安心と信頼をモットーに高品質サービスをお届けします。(中山良輝)

## クレド「私たちの約束」



みなさんは「クレド」という言葉をご存じでしょうか。「クレド」とは、ラテン語で、企業の信条や行動指針を簡潔に記したものを意味します。

最近ではリッツ・カールトン・ホテルや楽天株式会社など、経営に「クレド」を導入する企業が増えてきました。当社でも社員が主体となって高品位サービスに結びようと「クレド委員会」を立ち上げました。総務部が事務局となり、各部署からメンバーを選出しました。

「お客様や取引先の方に、どうしたら満足していただけるのか」「よりよい会社になるためにどうするのか」を課題に、社内でのアンケート調査をはじめ、取引先、協力会社様やお客様にもアンケートをお願いしました。

「こんな会社になりたい」「こんな会社であって欲しい」など多数の声を伝えることを踏まえ社長へのインタビューを行いました。

以上の事柄を精査し、『私たちの約束』として10の信条にまとめました。よりよいサービスに繋がるよう、また全社員が前向きになって親しめることを願い一枚のカードにして配布しました。これからは業務が推進され、顧客満足のために行動し、社員一人ひとりが人間的にも成長していくことで社内の活性化を図っていきます。



## 平成最後の天皇誕生日12月23日

12月23日は今上天皇陛下(継宮明仁天皇)のお誕生日です。今上天皇陛下は昭和64年1月7日、昭和天皇の崩御後ただちに第125代天皇とされました。皇太子の頃、昭和34年4月、容姿・知性・情操兼備の正田美智子嬢(美智子皇后)と「テニスコートの恋」を成就されたことは、国民皆様が熟知していることです。元号が「平成」と改まってからも、天皇のご公務(国事外交・神道行事等々)を確実に果たされてきました。地震や津波・大雨の被災地には、必ず美智子皇后とご一緒に現地を訪ねられて被災者に直接お見舞いのお言葉をかけられ深々と頭をさげられたお姿を、国民は何度もテレビのニュースで見えています。

この度、平成天皇のご意向で政府は「生前退位」に向け法整備を整えて、陛下のご希望にそう形で、平成31年(2019)4月30日に生前退位(200年ぶり)が決まりました。ですから今年の12月23日の天皇誕生日が平成最後の誕生日になるわけです。皆様と共にお祝いをしたいと思えます。

## 大晦日

大晦日(おおみそか)の意味は、旧暦では毎月の最終日を晦日といい、毎月の晦日の中で、12月の年内最後の晦日を大晦日といったのです。言葉の意味では、「みそ」は三十で、「みそか」は30日の意味です。また別名で晦日は「月隠り(つごもり)」とも呼ばれ、年内最後の月隠りが「大月隠り」です。

旧暦では月の満ち欠けで暦が決まりました。新月を1日とし月が隠れる「晦(みそ)」の頃が30日であったことから、30日を晦日と呼ぶようになりました。今でも30歳をみそじと呼ぶのもこの意味です。



## 大晦日と除夜の鐘

大晦日の夜に鳴らす除夜の鐘は、百八回つづのが古くからの習わしです。これは人間は百八つの煩惱(心身を乱し心をかき乱す一切の妄念・欲望)があり、除夜の鐘をきいて煩惱から解放され、新たな気持ちで正月を迎えるのです。仏教の教えでは「四苦八苦する」といいます。余談ですが誰かがこれを死苦(4×9)八苦(8×9)を掛けると4×9=36 8×9=72 36+72=108になると言いましたが、これは余り人様には大きな声では言えません。除夜の鐘は、中国の宋の時代に始まったもので、鎌倉時代に禅宗と共に日本に伝えられました。そして室町時代に除夜の鐘をつく様になりました。一般的には除夜の鐘は、旧年中に百七回つき、新年になって最後の一回をつき始めるお寺もあります。つき方にもルールがあり「弱くつく」「強くつく」を交互に繰り返し、弱くを五十四回、強くを五十四回ついて百八つの鐘を響き渡らせるのです。(猫田文吾)

教えて  
戌亥先生

冠婚葬祭アドバイザーの戌亥先生に聞きました

## 「精進料理」について教えてください

精進料理の本来の意味は、野菜・豆・穀類を工夫して調理した料理のことです。仏教では殺生が禁じられていますので、肉食はできません。そのため僧侶の食事は精進料理が基本になります。美食を戒め粗食であれという修行の一つです。精進料理は、ひたすら仏道修行に努めることで悟りを極めるための食事です。仏教各宗派で独自の料理があります。

## 精進落とし(料理)

火葬後または葬儀・告別式の終了時に設ける宴席を一般には「精進落とし」といいます。ただし、浄土真宗では「精進落とし」とはいいません。また、地方では「精進上げ」「忌中祓い」「精進落ち」「お斎(おとき)」「直会(なおらい)」「仕上げ」などと呼ばれています。

かつては、不幸のあった家では四十九日が済むまでは、肉や魚などの生臭ものは食わずに、精進料理で過ごすのがしきたりでした。また、この間は外出を控え、家にこもっていました。この期間に区切りをつけ、普段の生活にもどるのが「精進落とし」の意味です。

しかし、現代では四十九日も家にこもるわけにはいきませんし、遠方から来ている親戚や友人にしても何日も泊まるわけにはいきません。だから最近は葬儀当日に「初七日法要」を兼ねて、忌みが明けたとするわけです。精進落としも精進料理にこだわらなくなっています。



ただし、この初七日はあくまで仮の初七日法要であり、本当の初七日には家族があと祭りの祭壇の前で、初七日のお勤め(手を合わす)をすることが大切です。

## 直会

神道において、祭りが終わりますと、神前に供えてあった酒や供物をおろしてきて、一同で分け合って飲食する風習があります。葬儀の後でも同じように死者の霊前に供えてあった酒食を参列者一同が飲食します。

「直る」という意味は、葬儀で堅苦しくなった心身をもとに戻すことで、くつろいだ気分で会を行うのであり、「居直る」と同じ意味の使い方です。この「直会」という習慣は、神道においては何も葬儀だけのものではなく、儀式終了時において行われる一般風習です。この風習は、仏教の葬儀における通夜・葬儀や法事の後の会食にも影響を与えていると考えられます。神前に供えた酒食を分かち合うということは、神々と神聖なるものを分かち合うことを意味します。特に酒は、お神酒(おみき)と呼ばれる様に、神聖なものとしてきました。それが仏教の葬儀のあとでも用いられるようになったのです。

## 神社の参拝の方法

日本の長い歴史の中で大切に守られてきた神社。鳥居をくぐり、参道を進むと社殿が見えてきます。社殿の前に立つと神さまの存在が一層身近に感じられます。そして神さまに日頃の感謝や願いをお伝えする…。

私たちのおじいさんおばあさんも、そのまた、おじいさんおばあさんもお参りをして、家族の幸せを祈り、神さまの恵みをいただけてきました。私たちが神社にお参りする際の作法には厳格なきまりはありません。敬意の表し方は人それぞれですし、参拝の作法も神社や地域によって特色があります。

服装は、その時々々の心の表れともいわれます。あらたまった場での服装には今日でも特に気をつかいます。神社の神職は神さまに対するとき、目上の方に接するように正装します。ですから私たちも、神社参拝の際には極力服装をたやすう心がけてはいかかでしょうか。

特に社殿の中などの特別な場所で参拝される際、男性はスーツにネクタイ着用、女性も同等の服装を必要とされることもあります。旅先では、軽装になりがちですが、特別な場所での参拝を予定されている場合は、相応の服装を準備するとよいでしょう。

神社の鳥居には、一般社会と神域を区切る結界のような意味があるともいわれています。目上の方のお宅を訪問するような気持ちで、一礼してからくぐるのが丁寧なくぐり方とされています。また、参拝を終え、境内を出る際も社殿の方に向き直って一礼するとよいでしょう。

神社では参道の中央を神さまが通る道(正中/せいちゅう)と捉えることがあります。ですから、参道の中央を避けて進むのは敬意の表れといえます。また、参道の中央を横切る際に、軽く頭を下げながら通ったり、中央で神前に向き直って一礼してから横切るといった敬意の表し方もあります。

### 神社参拝の作法

1. 入口の鳥居をくぐる前に会釈をし、気持ちを引き締めてから境内に入ります。
2. 入手水舎の水で心身を清めます。このことを「手水をとる」といいます。
  - ① 右手で柄杓(ひしゃく)を持ち、水を汲んで左手にかけ左手を清めます。
  - ② 次に柄杓を左手に持ち替えて、同じように右手を清めます。
  - ③ 再び柄杓を右手に持ち、左の手のひらに水を受けて口をすすぎます。
  - ④ 口をすすぎ終えたら、もう一度水を左手に流します。
  - ⑤ 最後に水の入った柄杓を立て、柄に水を流してから伏せて置きます。
3. 参道を通ってご神前へ進みます。
4. 賽銭箱の前に立ったら会釈をし、神さまに捧げる真心のしるしとして、賽銭箱にお賽銭を入れます。
5. 二礼二拍手一礼の作法で拝礼し、会釈をしてから退きます。

### 拝礼の仕方

- ① 深いお辞儀(礼)を二回繰り返します。[二礼]
- ② 次に両手を胸の高さで合わせ、右手を少し手前に引き、肩幅程度に両手を開いて拍手を二回打ちます。[二拍手]
- ③ そのあとに両手をきちんと合わせながら心を込めて祈ります。
- ④ 両手をおろし、最後にもう一度深いお辞儀(礼)をします。[一礼]



協力 酒売処 林屋 彦根市本町1-7-37  
tel.0749-22-2737

うだらう。ンジしてはど発掘にチャレ分好みの地酒い。林屋で、自店頭で試飲できると多置いている。酒など一風変わった商品も置いている。んだ純米吟醸酒など一風変わった商品も置いている。うだらう。

特に、酒銘金亀で知られる岡村本家との付き合いは古く、昔ながらの木樽袋しぼりの純米吟醸酒「彦根 夢京橋」や古酒「鬼の左近(辛口純米原酒・五年貯蔵)」などは、林屋オリジナルの商品だ。また、金亀の量り売りや、低精白の純米酒、長浜バイオ大と岡村本家が共同で梅の実から分離した酵母で仕込んだ純米吟醸酒など一風変わった商品も置いている。

もともとは、大手の銘柄を扱う一般的な酒店だったが、時代のニーズに合わせて、近江の地酒が主力商品となった。金亀、多賀、七本槍、喜楽長、萩乃露などの日本酒のほかに、地ビールや珍しい滋賀県産の焼酎も扱っている。「最高の酒をお客様に、お客様の声を蔵元に」をモットーに、手づくりの酒にこだわる蔵元との関係を密にしながら、商いを続けている。

## FLOWER GARDEN IRIS



忙しい毎日の中で、もっとお花を楽しんでいただきたい!の想いから「新しいコト始めてみませんか?」でスタートしたSalon de Fleur+は、回を重ねるごとにどんどんご参加いただくお客様が増えていくとともに、毎回和気あいあいとした雰囲気の中、会話はずんだ楽しい時間となりました。

さらに今年は、他にもいろいろな教室などでたくさんの笑顔にお逢いできた、出逢いの1年となりました。私たちにとっても有意義で素敵な経験をさせていただいた時間でもありました。ありがとうございました。

皆様はこの1年、お花を楽しんでいただけでしょうか? 来年も、もっとお花を身近に感じ、楽しんでいただけるよう、新しいSalon de Fleur+にてお逢いできることを心より楽しみにしています。

2019年も、あなたの毎日にお花をプラス♥

### 2018年 最後のお知らせ

クリスマスに向けて、12月7日(金)・8日(土)の2日間、両日14時からと19時からの2回、今年最後のSalon de Fleur+を開講します。かわいいトピアリーで素敵なクリスマス♥そして、1年の「ありがとう」を込めて、新年の御祝にふさわしいお花をご用意しました。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

伝統

淡海の老舗

夢京橋キャスルロードにある「酒売処 林屋」は、近江の地酒を中心に扱う酒店だ。昭和20年彦根駅前、現在の滋賀銀行彦根駅前支店のある場所で創業。昭和40年代に本町に移転し、その後平成11年、夢京橋キャスルロードの街角整備事業に伴いリニューアルして現在に至る。



# サロンから始まる、安心のお葬式。

何から準備すれば？

費用はどのくらい？

家族葬って？

葬儀後の手続きは？

仏壇・お墓はどうすればいい？

ご葬儀や法要、ご供養の方法など、誰に相談したらいいのかわからない時に  
 どんなことでもお気軽にご利用いただける、県内初の「葬儀・法要相談サロン」をオープンさせていただくことになりました。  
 プラザアイリスでは、悔いを残さないご葬儀のために、不安を安心に変えてまいります。



2019年1月  
OPEN

PLAZA IRIS  
4つの特徴

- ご葬儀・法要の相談サロンとしてお気軽にお立ち寄りいただけます。
- ご供養関連商品を取り扱うショールームもございます。
- 小さなお見送り専用式場を併設しております。
- 法要式場としてもご利用いただけます。

ご葬儀・法要の相談サロン



メモリアルプラザ公益会館敷地内にOPEN!

## みなさまのおたよりから

- ♥ 無宗教の告別式、遺骨をどうするか…。これから葬儀やお墓のあり方も時代にしがたって変化していくのでしょうか。少しずつ調べて考えて選んでいかないといけないなと思っています。相談できるところがあるのは心強いです。(東近江市:女性)
  - ♥ 両親が90歳となり、今まで以上に「葬儀」や「財産管理」について関心を持つようになりました。これから都合が合えばアイリスのイベントにも参加していきたいと思っています。(彦根市:男性)
  - ♥ アイリスカードをあちこちで買い物に利用させて頂いて重宝しております。(彦根市:女性)
  - ♥ “遺産相続”“遺言書”などの文字を新聞やチラシの中で見つけた目目を奪われる年齢になりました。生前贈与、終活…いやいやあせらず少しずつ進めて行こうと思っています。(東近江市:女性)
  - ♥ 彦根っ子でも知らないことが、詳しく記載されていて、新しい発見ができ、散歩がてら出かけようと思います。親の遺産相続等も大変勉強になりました。(彦根市:男性)
- いつもたくさんのメッセージ、ありがとうございます。

全葬連葬祭サービス安心度調査 2018  
AAA(トリプルエー)獲得!



「消費者の視点からのサービス格付け評価」として、「葬祭サービス安心度調査」が実施され2018年度最高位「AAA」を獲得しました。更なるサービスレベルの向上に努めてまいります。

## 年末大感謝 ご愛読者プレゼント

会員のみなさまに日頃の感謝の気持ちを込めて

「淡海の老舗」でご紹介 酒売処 林屋様 はなやかなお正月の花飾り  
 純米吟醸酒「彦根 夢京橋」1本(1.8ℓ) 「迎春寄せ植え」



※写真はイメージです

- 抽選で10名様に
- 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。 **応募締切 平成30年12月21日(金)必着**
- 当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただくと共に、次号にて発表させていただきます。

vol.67「うを七様 大鮎の甘露煮(5尾入)」ご当選者

- 彦根市 / 大崎温良様・長野義男様・藤野幸子様
- 東近江市 / 尾崎幸男様・小辰綾子様・中川進様・正木繁男様
- 近江八幡市 / 伊藤彦三郎様・熊木義安様・深尾聡子様

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地  
 TEL.0749(22)5000 FAX.0749(22)0042

ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は

☎ 0120-61-4000